

またひとつ 問題解決

MIKA TECHNICAL PROOFING

平台校正の最大のメリットは、実際の印刷と同じ紙で校正できること。イメージや質感を確認する最良の方法として今日まで使用されてきました。しかしその反面、手作業による校正の品質にバラツキが生じて「再校と初校の色が違ってしまう」というのが一番の問題でした。ミカ製版が独自で開発した「Mika Technical Proofing (MTプルーフ)」は、紙質・紙厚を問わず製版で調整したデータ通りの出力を可能にするまったく新しいデジタル出力校正技術です。修正を加えないかぎり、いつ刷っても、なんと刷っても色調の変化がとても少なく、印刷仕上がりをスムーズに確認することが可能となります。



さまざまな紙で特別な一点もの作品も！

極薄の和紙、トッシングペーパーから、風合いのあるエンボス加工、しわ加工された用紙、厚さ1mmをこえる板紙まで世界でたった1枚のオリジナル作品づくりも可能です。

いままでのインクジェット機では出力が難しかった特殊紙に、独自技術で高品質のまま出力を可能にしたミカ製版のMTプルーフならば、ポスターや写真などのビジュアル表現の幅も格段に広がります。紙の風合いを活かしながら、インクジェット特有の色彩の豊かさを維持することが可能です。

MIKA TECHNICAL PROOFING

ミカ製版のMTプルーフ



「MTプルーフ」は、ミカ製版の半世紀におよぶカラー製版技術とノンコート紙へのプリントを可能にしたインクジェットプリンターが融合した本紙校正です。

年々お客様の色に対する要望は高まるばかりですが、「MTプルーフ」によって安定した本紙校正をお届けできるようになりました。

ミカ製版は、長年の経験と技術を軸に、最新の設備導入を積極的に行うことで他社にはできないオリジナルサービスの開発を進め、近年進化のない製版の業界で革命的な一歩を踏み出します。

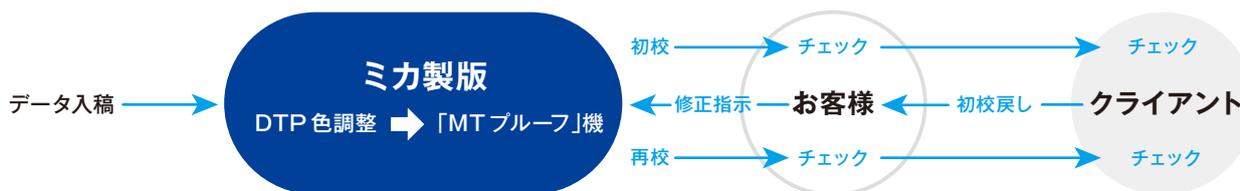
デジタルコントロールで仕上がりの安定性が特段に向上しました。

■現行の平台本紙校正



初校と同じ条件下にもかかわらず機械の特性上、修正箇所とは別の部分の色が変わってしまったり、同じ色品質で再現されないことが発生し、遅延や更なる再校の原因になっていました。

■「MTプルーフ」本紙校正



初校と再校がデジタルで管理されているため、修正箇所以外まったく同じ色品質で再現することが可能に！円滑な校正業務の流れを作ります。

インクジェット方式なのに本紙に刷れるメカニズム

今までのインクジェット機は、専用紙を使用しないと紙によって滲んだり、弾いたり、乾かないといった不都合がありました。「MTプルーフ」はインクジェット用紙のように特殊なコート層をもたない本紙へのプリントを可能とするため、水性顔料インクを着弾後すぐに熱によって固着させる技術を使用しております。インクが紙を選ばずに固着するためノンコート紙でも滲むことはありません。

